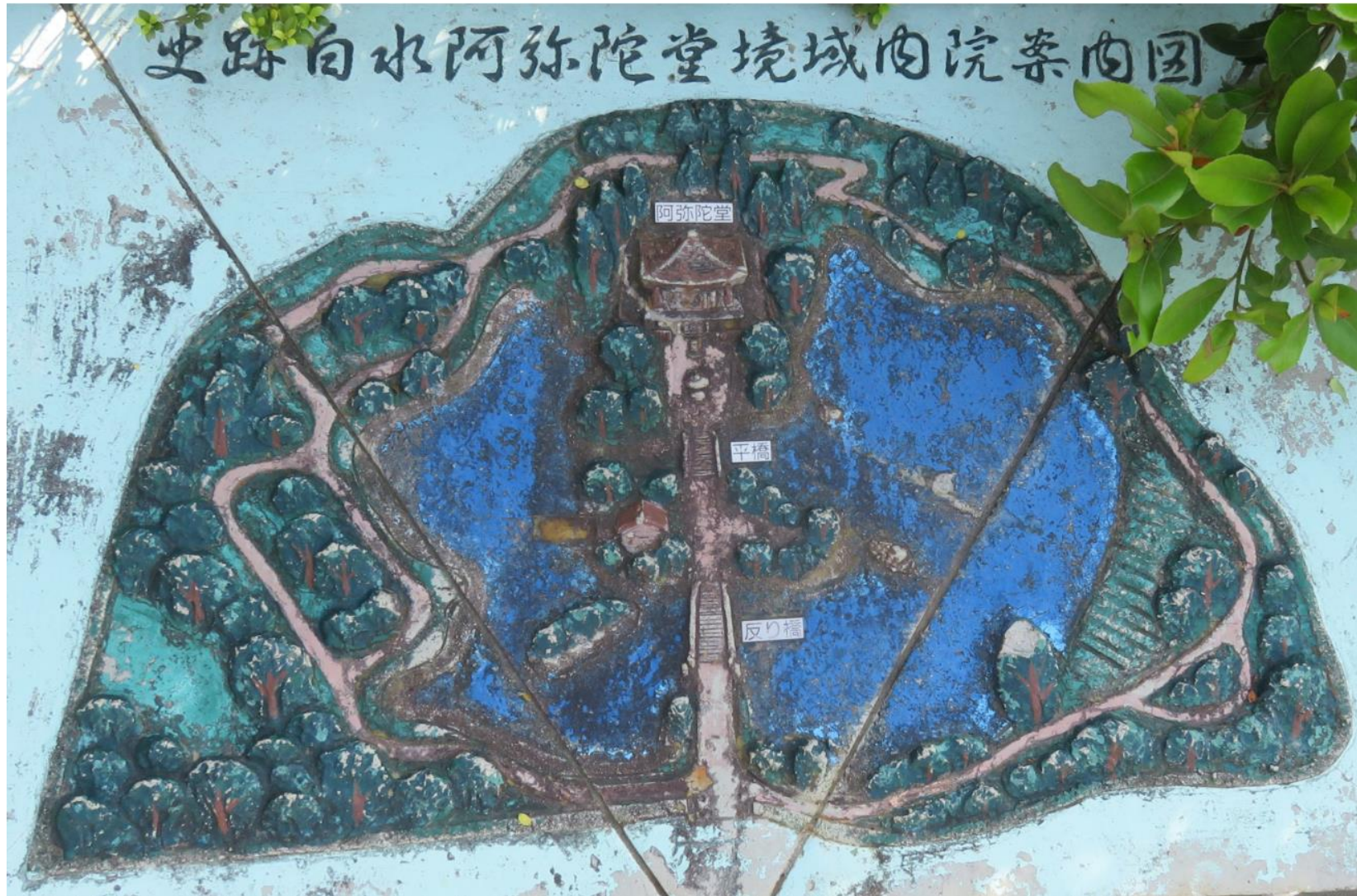


## 白水阿弥陀堂（いわき市）

白水阿弥陀堂境内内院のジオラマ/阿弥陀堂と浄土式庭園及び自然空間をとりまく環境が保持されていることなどから、国指定史跡となっている



正面前方に阿弥陀堂の屋根が見えてくる

 [video](#)



右手を見たところ/このエリアは「伝小御堂跡」/右端に説明板が見える



これがその説明板/背後が「伝小御堂跡」



## 国指定史跡 白水阿弥陀堂境域

白水阿弥陀堂境域は、昭和三十七年の発掘調査により、東西池の汀線・石組・洲浜・中島にかかる橋跡が確認され、浄土式庭園を伴った寺院であることが明らかになりました。

十一世紀頃から、釈迦入滅二千年後は、世が暗黒の世界になるという末法思想が普及し王朝貴族は西方浄土の光明を求めて阿弥陀堂を建て、浄土に往生することを願いました。白水阿弥陀堂境域の浄土式庭園も、このような思想的背景によって造営され、経典の説く理想をこの世の地上に具現したものと考えられています。

白水阿弥陀堂境域は、お堂と浄土式庭園、加えて自然空間をとりまく環境がよく保持されており、当時の東北地方南部の仏教文化を考えるうえで貴重なものであることから、昭和四十一年に国の史跡に指定されました。

その後昭和四十三年以降、周辺の土地公有化と、庭園復元事業が行われ、十二世紀の創建当初の姿に復元されました。

指定 昭和四十一年九月十二日

いわき市教育委員会

「伝小御堂跡」のエリアを見たところ

 [video](#)



そこで、右手を見たところ



同じく、左手を見たところ





阿弥陀堂へと進む



この辺りが「大門跡」/右手に説明板がある

 [video](#)





史跡白水阿弥陀堂境域

史跡白水阿弥陀堂境域は、永暦元年(1160)建立したと伝えられる国宝の阿弥陀堂を中心に、池、中島を配し周囲の山々を借景とし、平安時代後期に流行した浄土庭園として、国指定史跡となり、その後、発掘調査等に基づき復元されています。 史跡指定 昭和41年9月12日

SHIRAMIZU AMIDA-DŌ PRECINCT

In the center of Shiramizu Amida-dō Precinct stands Amida-dō temple, a national treasure, said to have been built in 1160. The temple, island and lake, drawing on the surrounding mountains as background, are laid out in the style of Jōdo Buddhism, popular in the late Heian Period. After being designated as a national site of historic interest on 12 September 1966, the Precinct was restored to its original state, following extensive excavation.

いんば市  
Inaba City

この案内板は、財団法人全国国会センターから貸し出し、広島県歴史館の協力を得て作成されたものです。  
This sign was subsidized by the JNH Sogo Center Livery P.R. Campaign.

史跡白水阿弥陀堂境域図説



## 史跡白水阿弥陀堂境域

史跡白水阿弥陀堂境域は、永暦元年(1160)建立したと伝えられる国宝の阿弥陀堂を中心に、池、中島を配し周囲の山々を借景とし、平安時代後期に流行した浄土庭園として、国指定史跡となり、その後、発掘確認調査等に基づき復元されています。

史跡指定 昭和41年9月12日

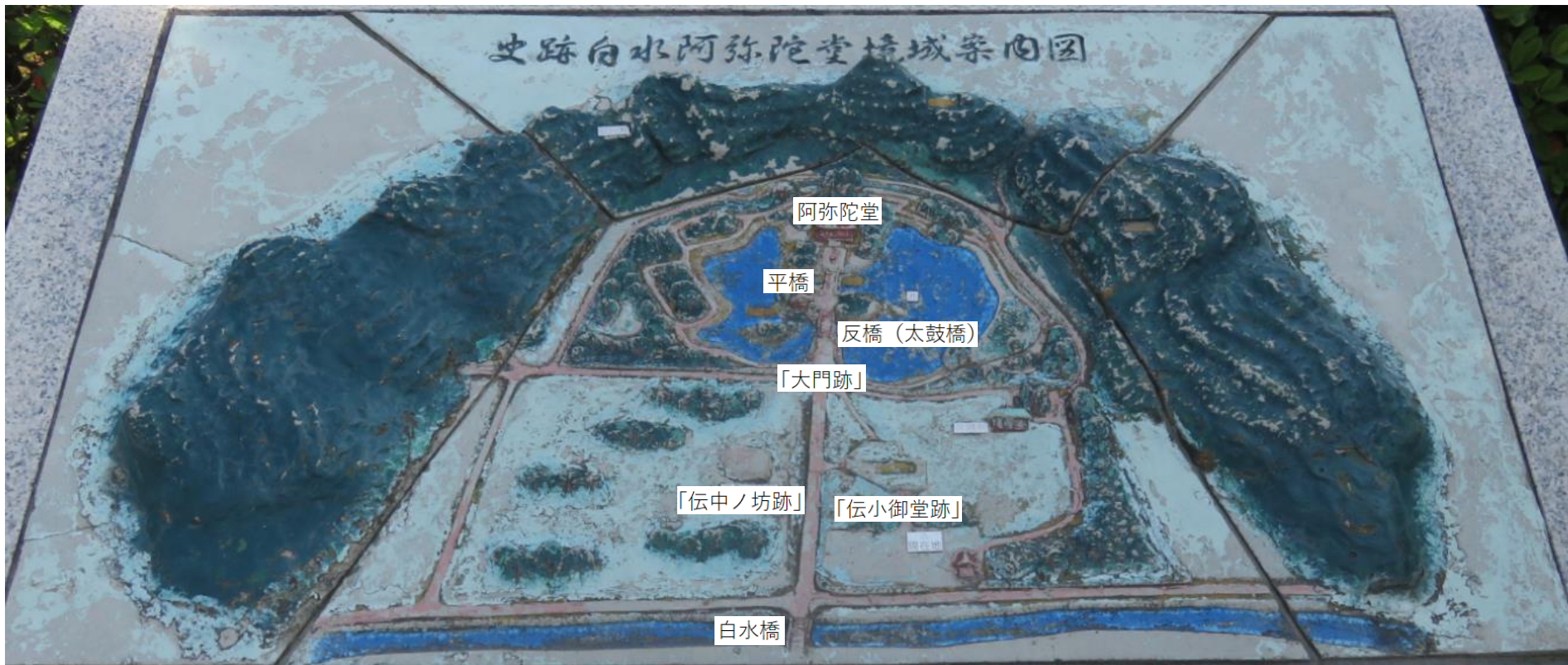
## SHIRAMIZU AMIDA-DŌ PRECINCT

In the center of Shiramizu Amida-dō Precinct stands Amida-dō temple, a national treasure, said to have been built in 1160. The temple, island and lake, drawing on the surrounding mountains as background, are laid out in the style of Jōdo Buddhism, popular in the late Heian Period. After being designated as a national site of historic interest on 12 September 1966, the Precinct was restored to its original state, following extensive excavation.

いわき市  
Iwaki City

この案内板は、財団法人自治総合センターから宝くじ普及広報事業費の助成を受けて作成されたものです。  
This sign was subsidized by the Jichi Sogo Center Lottery P.R. Campaign.

# 史跡白水阿弥陀堂境域案内図



阿弥陀堂

平橋

反橋 (太鼓橋)

「大門跡」

「伝中ノ坊跡」

「伝小御堂跡」

白水橋

指定年月日 昭和41年9月12日

所在地 いわき市内郷白水町字広畑・大門地内

指定面積 約24.4ha

白水阿弥陀堂境域のなかには、阿弥陀堂と庭園が、創建当初の姿を残し、加えてそれらを取り囲む石垣の遺構がよく保持されており、12世紀のわが国の文化を代表する浄土庭園の宝庫とされています。

阿弥陀堂の背後に龍塚山、西に朝日滝、東に夕日滝と称されることもあり、境域全体「極楽浄土の世界」を想起させます。

また、境域は、大門跡を境に内院と外院とに区切られています。外院には、伝小御堂跡・伝中ノ坊跡があり内院には、平安時代後期建立の国宝建造物である阿弥陀堂があります。その内陣には、国指定重要文化財である木造阿弥陀如来及び両脇侍像等5体の仏像が安置されています。昭和43年以降、国庫補助事業として、土地公有化や庭園の復元整備事業が進められました。

平成6年3月 いわき市教育委員会

阿弥陀堂は願成寺の境外地として管理されている



「大門跡」を過ぎると両サイドは池で、前方に反橋が架かっている

 [video](#)



振り返って、南方向を見たところ





そこで、左手に「伝小御堂跡」のエリアを見たところ



同じく、右手を見たところ/こちらは「伝中ノ坊跡」のエリアだが、建物が建ってしまった



反橋を渡る



右手の池を見たところ



左手の池を見たところ



反橋を渡って、振り返って見たところ

 [video](#)



ここから先は有料



今度は平橋を渡る/いよいよ、阿弥陀堂がはっきりと見えてきた

 [video](#)





右手の池を見たところ



左手の池を見たところ



正面が阿弥陀堂





奥州藤原氏が築いた浄土思想に基づく理想的宗教都市を念頭に、当時、いわき市一帯を支配していた岩城氏に嫁いだ徳姫が建立したと云う



右手から見たところ/桁行三間、梁間三間の典型的な阿弥陀堂建築

 [video](#)



翺(とち)葺屋根に載る宝珠・露盤



組物は出組で、中備は間斗束

[video](#)





外観は素木のままで、彩色などは施されていない



切目縁に上がって、軒廻りを見たところ/堂内は撮影禁止！/軒裏は二重繁垂木



隅の斗拱/肘木の出が長いのは、平安時代の建造物の特徴と云う



出組



間斗束



板戸

 [video](#)



南方向を見たところ



境内には様々な石造物があった

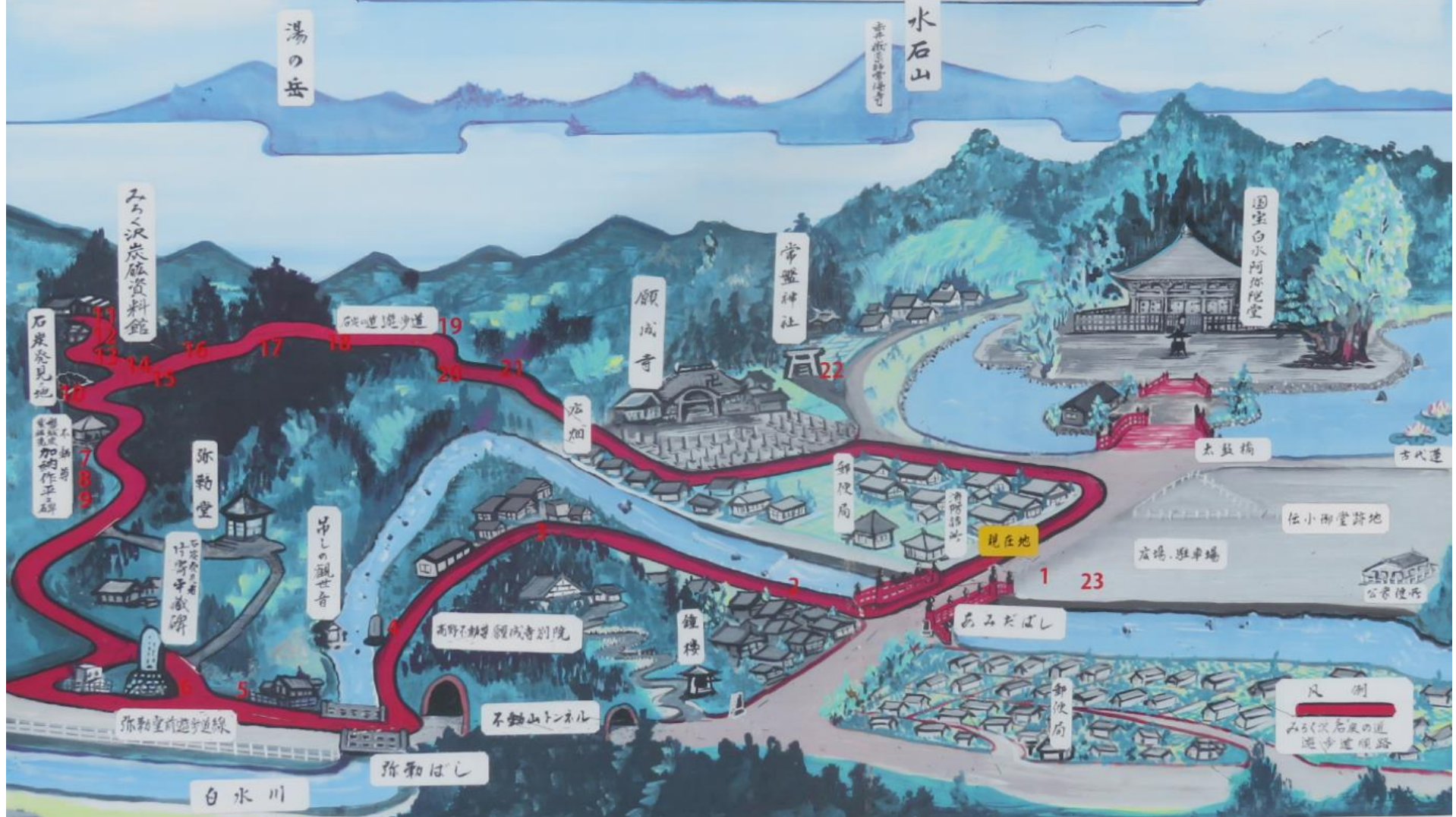




さて、これは道すがらのブロック塀に掲示されていた案内板



# みろく沢石炭の道・遊歩道案内図。





さて、ここは白水阿弥陀堂の西側に所在する願成寺

[video](#)



その右手には、先程のブロック塀に掲示されていた、白水阿弥陀堂を建立した徳尼御前（徳姫）を祀った白水常磐神社が所在する



「村社 常盤神社」と刻まれている



徳尼御前（徳姫）は藤原清衡の養女であったと云う/この石碑には常盤神社の懸仏（いわき市指定文化財）について記されている



常盤神社の懸仏

懸仏とは、鉄や銅を素材に、お内板に神格で仏様の姿を半身浮き出すように鑿込み出し、そこへ鍍の利ふ  
と入れて形を整え、これを神社にかけて掛んだもの。神と仏の信仰を調和させようとした神仏習合の全盛期  
代から始まり、鎌倉・室町時代に盛んに行なわれ、明治維新の神仏分離の時期まで続いた。懸仏は一名脚止  
体とも呼んで、神社信仰のなかでは非常に大衆に受け入れられてきたものであり、常盤神社の懸仏は鍍製、上部の右  
側に二個の吊り輪がつき、直径三〇・八センチ、厚さ約一センチ、円形のまんまなかに徳高一四・五センチは  
どの堂懸き像がある。観音像は、ハスの花をかたどった台に坐り、右手を胸のあたりに置き、左手にはハス  
の葉は幼い子か、えびよりの素朴な表情であり、銘はないが鎌倉時代の作品だとみられている。常盤神社  
は、永徳元年（一一六〇年）に台水阿弥陀堂を建てたと、これは園主宮尾頼朝の菩提を打出したことに  
まつき、その近くの現在地にうつした。本殿修復落成にあり、この碑を建て、記念とす。

昭和六十二年十月吉日

小坂嘉伯 謹書  
五十嵐谷木 謹刻

社殿へと階段を登る





これは常盤神社拝殿

 [video](#)





右手は本殿の覆屋



これが本殿



アップで見たところ

[video](#)



パワースポットになっているようだ



パワースポット



神秘的な奇蹟の瞬間

白水阿弥陀堂を建立した  
とくあまごぜん  
渡尼御前を祭祀  
さいし  
常盤神社  
ときわ



何らかの記念碑が立っていた





アップで見たところ



鳥居を見下ろしたところ



参考ホームページ

<http://shiramizu-amidado.org/>

<https://butsuzolink.com/shiramizuamidado/>

<http://kankodori.net/japaneseculture/treasure/133/index.html>

<https://garden-guide.jp/spot.php?i=shiramizu-amidado>

<https://www.fukutabi.net/fuku/iwaki/siraizumi.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~KV3H-TDKR/kokuhou-jpeg/mokuroku-1/006.amidadou.html>

<http://www.ne.jp/asahi/tokyo/ono/temple/Amidadou/Amidadou.htm>

